



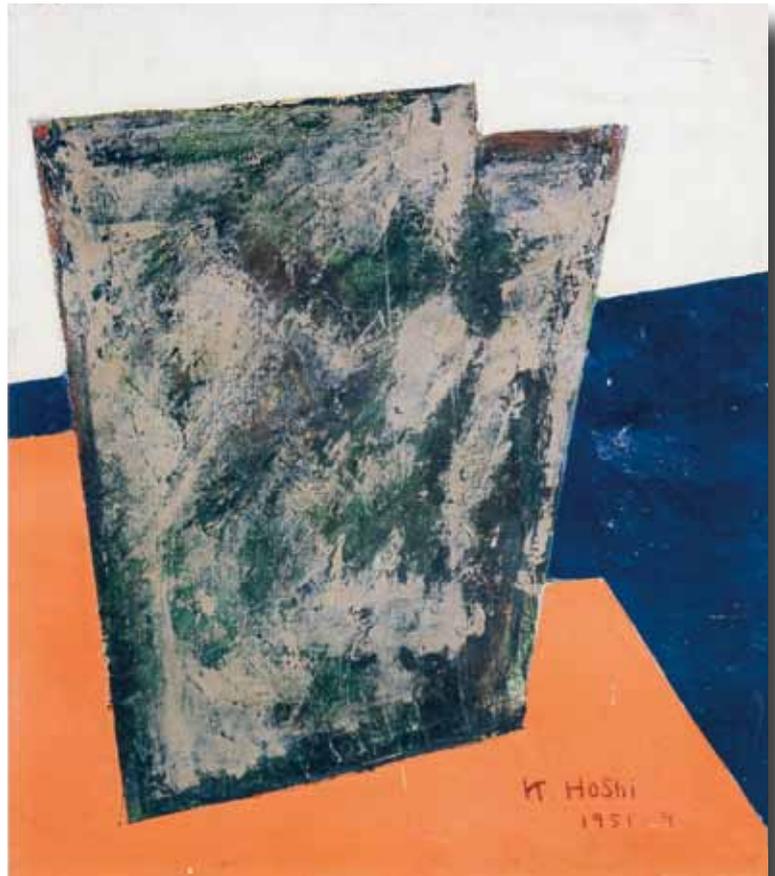
公益財団法人 星総合病院

懸虹

新年のご挨拶

公益財団法人として

地域に果たすべき役割



倉庫 (F10, 1951)

星 一雄

- 結石破砕装置のご紹介
- 第29回海外研修
- 冬場の感染症予防アドバイス
- 無料・低額診療事業のご案内
- 冬やすみキッズツアーを開催
- かがやき健康館のご案内
- 施設ニュース
- トピックス

命を見つめる

【醫】

【靈】

昔も今も医師に治療内容の説明を受け、治療を開始する事に変わりはなく、医療技術の進歩と共に在院日数が短縮されています。何度か手術をして家族や親族に心配をかけていた立場であった私でしたが、数年前、それは、雪が深々と降りしきる朝でした。手術室に歩いて向かう親族である患者と共に手術室前まで行き、ドアの中に消えてゆく患者の姿を見送り、心が締め付けられた事が今も忘れられません。手術開始から一時間、二時間と経つにつれ不安と心配の入り混じった感情と緊張が続きました。なによりも救いとなったのが、術前の説明の中で担当医が、毎日同じ手術を繰り返し施行していますから、安心して任せてください、という言葉でした。それと同時に発せられた言葉は、開腹して切除不能であれば一時間位で手術は終了しますと、厳しい現実もつきつけられました。三時間経ち五時間経ちなおも待ち続ける私達の周りにも、ほかの患者さん達の家族が沢山いました。看護師が姿を現すと、全員が自分達のかかわる患者の名前が呼ばれるか注目します。その時、病院の中での看護師の位置がどれだけ患者サイドの家族にとって大きな心よりどころとなっているか、身をもって感じた瞬間でした。これからも、私たちは、自分の命と向き合い、前進しなければなりません。

法人医事部長代理 細山美千子

新年のご挨拶

公益財団法人として地域に果たすべき役割

当法人の理念は、「**医**」である。これは辞書には載っていないが、創始者星一郎が、私達も最大限に発揮したい。お救えなかつた人々の霊に對し、その霊をも**醫**(癒)やしたい。それが**医**道を歩む者が生きた悟である。これを信じて進めたい。医療は科学と心を合わせた人間である。このことを常に念頭におき、科学と人間の間を埋めることこそが私の使命である。医の原点を見据えながら「**醫**」という理念の具現化を図っていききたい。

理念



公益財団法人星総合病院 理事長 星 北斗



新病院は順調に滑り出し、学院も期待通りの、あるいはそれを超える価値を発揮しつつあります。今年は、星ヶ丘地区を新たな機能に見合った形にすべく増築や改修をすすめるとともに、病を得ても住み慣れた地域で過ごしたいという声にこたえるために、三春病院やほし横塚クリニックを含めて在宅医療にも積極的に取り組む一年になると思います。更には大町の病院跡地の再開発を地域の活性化やコンパクトシティの実現と言った地域との融和の中で推進して行く予定です。

地域医療支援病院や臨床研修指定病院、認知症疾患医療センターなど広域で果たすべき役割を更に充実させるとともに、学び育て、学び育つという医療従事者としての基本を忘れる事なく、公益法人として地域ニーズに応える事業に集中していきたくと考えています。多くの関係者から寄付などを通じた支援や様々な指導を受けながら、着実に事業を推進して参ります。

公益財団法人星総合病院 総長院長 丸山 幸夫 ほし横塚クリニック 院長



明けましておめでとうございます。昨年は大きな節目の年になりました。まず年明け早々の新病院への引越しに始まり、7月20日の会長 星 一雄先生の誕生日を記念してのグランドオープンでは盛大に病院の完成を祝っていただきました。新病院は安心、安全への配慮に加えて温もりや気遣いの心が感じられ、まさに時代を先取りした独創的な病院となっています。其の病院の完成を見届けるかのように星 一雄先生は翌月御逝去されました。当法人発展のために尽くされた先生に心からご冥福をお祈り申し上げます。

新しい病院がスタートしたのですが、ハード面での充実と同時に、ソフト面でも地域の皆様から「おらが病院」として頼りにされる病院を目指していきたく願っています。

高齢化時代を迎え医療形態も変化が求められていますが、この度、共生会クリニックをお引き受けし、ほし横塚クリニックとして昨年4月より運営を開始しています。この開院を通じ世の中の要望に更にしっかり応えていく所存です。ご支援、ご協力の程、よろしくごお願い申し上げます。

星総合病院 病院長 木島 幹博

あけましておめでとうございます。

昨年1月に新病院がオープンし1年を過ぎましたが、皆様方のお陰で新病院の船出は順調です。看護師不足のため未だ一部の病棟を開けない状況にありますが、今後少しずつ充足していくべく努力をしさらに地域の皆様のお役に立てる医療機関をめざしたいと考えております。現在、医療は厚労省が策定した2025年モデルに向かって進んでおり、その中で私たち星総合病院の立ち位置は、この地域における一般急性期病院だと考えております。2次救急病院として「できるだけお断りしない病院」の体制作りをしていくと同時に、地域包括ケアシステムの構築にも積極的に関与していかねばなりません。時代は、最先端の医療と同時に、一人一人が生まれ育った地域で安心して一生を終えられるような地域社会を求めており、我々医療人にはその中心的な役割が求められています。一步一步前進する1年になるよう全職員で取り組んで参ります。





星ヶ丘病院 病院長 沼田 吉彦

明けましておめでとうございます。

さて、日本の精神科医療は歴史が浅く、国民の精神障害への認識不足もあったため、欧米に比べて精神疾患の患者に対する機能分化や社会復帰施設等の整備が遅れていました。しかし、昨年4月より医療計画に精神疾患が追加された事により、これから精神科医療分野はさらに大きく変化します。このような状況の中で星ヶ丘病院がどのような機能を担っていくのか、今実際に通院している患者や入院している患者にとって最も良い医療とは何か、どのような医療を実現したいかという課題を持ち、先を見据えた「新たな星ヶ丘病院」を今年は構築するよう努力する所存です。

また、昨年7月にポラリス保健看護学院が星総合病院隣地に移転新築し、新たな教育並びに医療・研修の拠点が出来ました。星ヶ丘病院も今まで以上に地域医療水準向上に貢献出来るよう努めて参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。

三春町立三春病院 病院長 渡辺 直彦



あけましておめでとうございます。

昨年は星総合病院が新たに開院し地域の基幹病院としての診療が開始されました。それに伴って三春病院も電子カルテの導入など診療体制の改革が求められましたが、職員の支援のもとに大きな問題もなく目標が遂行されつつあります。

今年は東日本大震災から3年目になりますが、福島県の医療はまだ復興途上であります。高齢化も伴って地域の方々の健康維持には厳しさが増えています。このような背景により地域医療を担当する私たちの使命は益々重要になると考えられます。今年も地域の皆様の期待に応えられるように、医療の質の向上と安全性の確保を目標にしっかりと取り組みたいと思います。そして、職員一人一人がこの目標を共通認識し、多職種が協働して病んだ患者さんが回復できるように努力してまいります。

本年も、引き続きのご指導とご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



介護老人保健施設オリオン 施設長 森 慶秋

前理事長を送って喪に服している新年の筈ですがなぜか明るい年の初めを感じています。昨年の年の始めは本当に新病院の始まりでした。私は整形外科とのお付き合いの1年でした。7月に入院し添田先生の執刀で腰部脊椎管狭窄症の手術を受けて今も坐骨神経痛の症状で毎日坐薬のお世話になっています。いろいろと対応していただいておりますが、現在の治療で何とか勤務も出来ています。後期高齢者ともなると苦痛の箇所は増えてきます。そのために各科の先生方の御苦勞がわかる気がしますし、オリオンでの高齢者の方々の苦勞も身にしみる思いです。何とか今年を生き抜いて行きたい思いです。

社会福祉法人愛星福祉会 理事長 星 光一郎



初春のお慶びを申し上げます。昨年同様、愛星福祉会も宜しくお願い申し上げます。

今年四月から消費税が増税となります。社会保障の充実を目標に掲げながら、明らかに増税しても足りない社会保障費の穴埋めはどうすればよいのか。それは今後の医療・介護等の報酬改定において更なる重点化・効率化を図り無理なマイナス改定と利用者負担の増額で賄うことになるようです。

医療・福祉介護の分野には益々、連携・協力が求められ、相互の役割を補完しつつ地域包括ケアシステムの構築に取り組み新しい町作りの牽引車になるという大きな責任が課せられています。

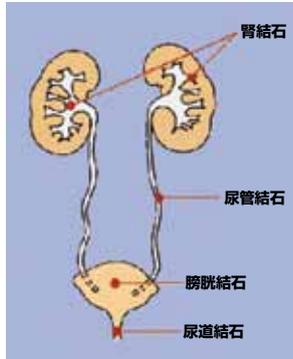
地域に根ざした「おらが町の病院」は公益財団法人として、福祉サービスは社会福祉法人として、見える化し事業の地域還元に尽くしていきたいと考えます。

全ての世代の、様々な人達が、いつも笑顔で暮らせる「共生社会」の第一歩を踏み出す年になるよう頑張りたいと思っております。皆々様のご指導宜しくお願ひし、新年の挨拶とします。

星総合病院では、平成25年10月に「体外式衝撃波結石破碎装置 ドルニエ Delta II」を導入、体を切らずに結石だけを砕く最新治療「体外衝撃波結石破碎術 (ESWL)」をスタートしました。

尿路結石とは？

腎臓から尿管・膀胱・尿道に至る尿の通り路に結石ができる病気で、食生活の欧米化にともない増加しています。



体を切らずに結石だけを砕く最新治療「体外衝撃波結石破碎術」について

音波の一種である衝撃波を体の外から結石に向けて照射し、筋肉や他の臓器を傷つけることなく、結石のみを細かく破碎する最新治療法です。

砂状に破碎された結石は尿と共に自然に体外に排出されます。排出までの時間は患者さんによって異なりますが、多くは数日から1～2週間程度です。副作用や後遺症も少なく、現在では結石治療の第一選択肢となっています。

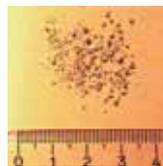


○特徴《健康保険が適用されます》

1. 体に傷がつかない
2. 治療時間は短く1時間以内で終了
3. 副作用・後遺症が少ない
4. 入院期間が短く、退院後すぐに日常生活・職場への復帰が可能
5. 高齢の方や、他に病気のある方（高血圧・糖尿病など）でも安心して受けられる
6. 再発の場合の治療法としても最適



治療前の結石



治療後

注意

結石の位置や大きさによっては、治療の前後に、泌尿器科的処置法を併用する場合があります。

お問い合わせ先
星総合病院 泌尿器科

第29回海外研修終了

当法人では毎年、勤続10年を迎えた職員および初期研修医が参加し、海外研修を実施しています。今年度は21名が参加し、11月18日～22日の3泊5日の日程でイギリス（ロンドン）の医療事情を学ぶことができました。

視察施設

Charing Cross Hospital(救急医療)

設立1818年で、病床数は480床。成人の臨床専門分野をカバーするNHS(国営医療サービス)の急性期病院で救急ヘリサービスも行う。救急部門は年間約34,000人、緊急ケアセンターは年間約56,000人の患者を扱う。



Maggie's London(在宅医療)

再発乳がん患者であったマギー・ケズウィック氏の「病人ではなく、1人の人間に戻れる、そして死の恐怖の中にあっても生きる喜びを感じられる小さな家庭的な安息の場が欲しい」という思いを受け継いだ人々によって設立。



Maudsley Hospital(精神科医療)

1924年設立のイギリス最古の精神病院。病床数約250床。精神的健康および薬物乱用の問題を持つ人々のための臨床サービスの広い範囲に対応。

参加者の感想

- 今後の医療、保健福祉事業の提供にあたり視野が広がられた
- 国民性や文化による医療の違いはあるが、患者を思い寄り添った医療を提供する考えは一緒であった
- イギリスで在宅医療が進んでいる背景にはGP(家庭医)の存在と医療者の基礎能力の高さがある。実践能力を身に付ける継続教育の必要性と基礎教育の重要性を改めて感じた
- 3施設ともに共通していたことは、看護師の担う役割の重要性と専門性が高いこと。知識・技術・経験からくるアセスメント力の高さを感じられた。
- 在宅医療の意識が高い国であった
- 患者を1番に考え、患者によりよい医療を提供したいという思いは同じであるということ。そのためには今まで以上に他職種間の連携、情報の共有、チーム医療が重要視されると感じた。



バッキンガム宮殿の前で

冬場の

感染症予防 アドバイス



インフルエンザについて

インフルエンザの流行時期です。基礎疾患のある方や高齢者、乳幼児では合併症を併発する恐れがあります。ワクチンは、発病をほぼ確実に阻止することはできませんが、高熱などの症状を軽くし、合併症による重症化を減らすことができます。早期のワクチン接種をお勧めします。

感染性胃腸炎について

ノロウイルスやロタウイルスによる流行は冬季に多く見られます。人混みなどから帰宅した際には、手洗い・うがいを励行し、家庭内や集団内での二次感染予防に努めましょう。

RSウイルス感染症について

RSウイルスの感染によって発症する呼吸器感染症です。特に、生後数週間～数ヶ月の時期においては下気道の炎症を中心とした重篤な症状を引き起こす場合があります。主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。家族間の感染や乳幼児の集団生活施設等での流行にご注意ください。

(感染対策案)

医療費でお困りの方はご相談ください

当法人では『無料・低額診療事業』を実施しています

当法人では第二種社会福祉事業に則り、自然災害、失業、長期療養を必要とするなどの事情により医療費の支払いが困難な方に対し、医療費の減額免除を行っております。この制度の目的は、経済的な理由によって、必要な医療を受ける機会が制限されることのないよう、医療費を減額免除し治療を受けていただくことです。

〈対象者〉

- ・当法人に受診される方で、所定の申請書を提出し病院長の承諾を得た方
 - ・医療費減額免除申請理由が、当法人の基準を満たす方で、医療費の支払いが困難な方
- ※原則70歳未満の3割負担の方
※原則外来通院されている方（入院の方も特別な事情がある場合はご利用いただけます）

例)

- ・病気や失業等により、一時的に収入がなくなり、医療費の支払いにお困りの方
- ・DV被害により、一時保護されている状態で所持金がない方
- ・災害被害にあわれた方
- ・非課税世帯の方（就職困難等）等

【相談窓口】 総合相談室 ソーシャルワーカー

冬やすみキッズツアーを開催

子供たちに病院での仕事を体験してもらうことで、命の尊さを感じて頂き、「医療」という仕事へ興味を持ってもらうことを目的に、星総合病院及びポラリス保健看護学院にて12月21日、「冬やすみキッズツアー」を開催しました。昨年の夏に続き2回目となる今回は、郡山市内の小学生19名とその保護者15名の計34名が参加しました。

救急蘇生および注射の仕組みについての理解、プールでのリハビリ体験、医療機器の操作体験や病院見学など内容盛りだくさん。お母さんは栄養たっぷりおやつの調理実習を行いました。



注射のしくみについて



ヘリポートで記念撮影



腹腔鏡下手術用機器の操作を体験



プールでのリハビリ体験



「ヨーグルトトライフル」を調理

参加した児童からは「人の命を守ることは大変なことだと思った」との感想が聞かれました。様々な体験を通して医療への理解を深めていただく機会となり、参加して良かったと好評でした。

次回は、今年の夏休みの開催を予定しております。ぜひご参加ください。

かがやき健康館のご案内

参加者募集中

星総合病院併設の健康増進施設「かがやき健康館」では、スタジオや屋内温水プールを備え、運動だけでなく食事や睡眠、余暇活動を含めたライフスタイル全般での健康づくりの推進を目指しています。

今回は、健康館での各種プログラムの一つ、出産前後の方を対象とした「産前産後プログラム」についてご紹介します。

マタニティピクス、アフターピクスを指導するのは、県内のフィットネスクラブや病院等で幅広く活躍するベテランのインストラクター（日本マタニティフィットネス協会認定）。参加者からも大人気です！

① 妊娠中のママのためのプログラム

【対象者】
妊娠13週～妊娠37週まで

レッスン前後は、助産師・インストラクターにより血圧や脈拍等のメディカルチェックで体調管理を行うので安心です。

マタニティアクア

水中で行うエアロピクス運動です。立って行うので泳げない方でもOK。浮力があるので重いお腹も軽くなり、楽しく体を動かすことができます。



むくみの改善、さらに妊娠中に鍛えたい筋肉を簡単にトレーニングできます。

日時	毎週金曜日 毎月第3土曜日 11:00～12:00
料金	通常1,000円のところキャンペーン中により 1回500円 (水着レンタル有：+200円)
定員	10名 (予約制)

マタニティピクス

妊婦さんのためのトータルフィットネス。軽快なリズムに合わせて大きなおなかでもできるエクササイズです。



お産に向けての体力アップや妊娠中の体重コントロール、産後の体型戻しに効果があります。

日時	毎週火曜日 14:00～15:00
料金	通常1,000円のところキャンペーン中により 1回500円
定員	10名 (予約制)

② 産後のママのためのプログラム

アフターピクス

有酸素運動と筋力トレーニングを交互に行うプログラムです。出産後の体重コントロールや体力アップ、気になる部分のシェイプアップ、乳汁分泌の促進を目的としています。

スタート時期 産後1ヶ月健診が終了した方 (主治医の許可が必要)

日時	毎週火曜日 15:30～16:30
料金	1回500円 (回数券あり：10回4,000円)
定員	30名 (予約制)

赤ちゃんと一緒にエクササイズ

毎日の育児で疲れや腰痛、肩こり、頭痛などありませんか？ベビーマッサージ、ベビーヨガを行って赤ちゃんと一緒に体をリラックスさせて育児ライフを楽しく過ごしましょう。

赤ちゃんの知的発達や情緒性の発達にも効果があります。

対象者 出産後2ヶ月～1年までの方

日時	毎月第4金曜日 10:00～11:00
料金	1回500円 (予約制)

産前産後プログラム利用者の声

スポーツジムよりも気軽に参加でき、また子供を近くで遊ばせながら運動できるので利用しやすいですね。体を動かすことで鬱々とした気持ちが晴れ、リフレッシュできています。(利用者Mさん)

申込み方法

かかりつけ病院の産婦人科外来

- ①の場合：診察時に医師から運動許可書を発行してもらう(星総合病院以外の方は一度お問合わせください)
- ②の場合：1ヶ月健診時に医師から運動許可をもらう

かがやき健康館にて入会手続き(事前にお電話ください)

その他、プールでの水中運動療法(水中ウォーキング教室、パーソナルトレーニング)等のプログラムもあります。詳しくはホームページもしくは下記までお問合わせください。

問合わせ先：かがやき健康館 TEL：024-983-5532
月～土曜日 9:00～17:00
木曜日 9:00～12:00 (第3木曜日は休館)

随時見学受入れ中!

健康館トピックス

アフターピクス利用者のべ500人達成

かがやき健康館にて平成25年1月からスタートした「アフターピクス」利用者が、のべ500人を達成しました。徐々に利用者も増え、インストラクターの先生の指導のもとみんなで楽しく体を動かしています。



施設ニュース

星総合病院

ハッピークリスマスコンサート・「ひょうたんランプ」展示 12月21日

メグレズホールにてクリスマスコンサートを開催しました。第一部では、職員によるフラダンスや合奏、患者さんの演奏、三春レディバグズダンスクラブによるダンスが披露され、続く第二部では安積黎明高校吹奏楽部、安積高校合唱団・弦楽合奏部、安積中学校合唱部の皆さんによる美しいハーモニーが響き渡りました。延べ約300名という多くの患者さんやご家族、地域の方々にご来場いただき、癒しのひと時を楽しんで頂きました。



ホールのホワイエでは、うさみ内科（郡山市）院長 宇佐見啓治先生手作りの「ひょうたんランプ」の展示を行いました。繊細な細工により幻想的な光を放つひょうたんランプは、全て先生のオリジナル。素晴らしい作品の数々に、感動の声が上がっていました。



夜間防災訓練

11月28日

夜間23時、2階病棟の食堂ラウンジから出火したとの想定のもと、出火場所の確認、初期消火作業、院内連絡、119番通報、避難誘導等の訓練を行いました。今後も定期的な訓練を実施し、職員の自主防災意識の高揚と防災体制の確立をはかってまいります。



星ヶ丘病院

研修会「急性中毒について」開催

11月21日

星ヶ丘病院主催、福島県精神保健福祉協会県中支部共催の研修会「急性中毒について」をメグレズホールにて開催し、県中地域の医療従事者、保育士など約100名が参加しました。日本中毒情報センターつくば110番黒木由美子施設長より、急性中毒に関する危機管理についてご講演頂きました。



三春町立三春病院

健康講座

12月21日

「お正月を楽しく過ごして生活習慣病予防のチャレンジ!」をテーマに、渡辺直彦病院長、戸松明子管理栄養士、佐藤峻理学療法士が講演を行いました。患者さんとそのご家族の方々、地域住民の方々など約30名が参加しました。



介護老人保健施設オリオン

受験生へ手編みのソックスをプレゼント

12月3日

通所リハビリテーションを利用されている橋本伸子さんが、片平中学校3年生29名へ手編みのソックスをプレゼントしました。

受験勉強の際に足元を冷やさないようにと、作業療法の一環として1年前から準備していたもので、生徒の皆さんに喜んでいただきました。



養護老人ホーム三春町敬老園 感染症予防への取り組み

インフルエンザや胃腸炎、ノロウイルス等の感染症予防を目的に、入園者向けの勉強会を実施しています。職員がうがい・手洗いの指導を行い入園者への意識付けを徹底。職員、入園者全員で、感染症の予防に努めています。



トピックス

ご寄附 ありがとうございます

会津若松市のボランティアグループ「タオル帽子会 あいづ」様より、手作りのタオル帽子と巾着を寄贈いただきました。がん患者さんのために有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



同会では、タオルの寄附を募っています。

ご家庭に未使用のタオル(企業名等が入っていないもの)がありましたら、ご提供くださいますようお願いいたします。お預かりしたタオルは当院が責任を持って、同会にお渡し致します。

お問い合わせ先：法人看護部

こおりやまNPO「ぞうきんの会・郡山」の皆様から雑巾100枚をいただきました。平成24年5月より活動を始められ、8名の会員の方々が月2回楽しみながら雑巾を縫っているそうです。心のこもった雑巾で新校舎を綺麗に清掃致します。ありがとうございました。



メグレスホールのFacebookができました

ホールで開催される各種コンサートや研修会等のご案内、イベント写真を掲載しています。なおホールでの催しは全て無料で、ご来場の際は星総合病院駐車場をご利用いただけます。ぜひお気軽に足をお運びください。



←星総合病院ホームページ上から、左のバナーをクリック



公益財団法人 **星総合病院**
HP <http://www.hoshipital.jp>

●星総合病院

〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5511

星総合病院 在宅介護支援センター

〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5515

ほしのご保育園

〒963-8501 福島県郡山市向河原町159番1号
TEL 024-983-5519

●星ヶ丘病院

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-6411

星ヶ丘訪問看護ステーション

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-1711

居宅介護支援事業所星ヶ丘

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地
TEL 024-952-6414

星ヶ丘保育園

〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7番地3号
TEL 024-951-0788

●介護老人保健施設オリオン

〒963-0211 福島県郡山市片平町字峯三天2番地
TEL 024-952-6413

●三春町立三春病院(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50
TEL 0247-62-3131

●ほし横塚クリニック

〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36
TEL 024-956-7778

星訪問看護ステーション

〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36
TEL 024-956-2322

芳賀・小原田地域包括支援センター

〒963-8803 福島県郡山市横塚二丁目20-36
TEL 024-941-1121

●養護老人ホーム三春町敬老園(指定管理)

〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50番地の1
TEL 0247-62-3618

●ポラリス保健看護学院

〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号
TEL 024-983-5010

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス

<http://www.hoshipital.jp>

発行／公益財団法人星総合病院

編集／「懸虹」編集委員会

発行日／平成26年1月27日

住所／〒963-8501

郡山市向河原町159番1号

編集後記
明けましておめでとうございませう。昨四月に入職し、早十ヶ月を病院からのメッセーを発信することの出来る広報という事に大ききなりがいを感じております。広報部員として、四季を通じて開催される地域行事や法人各施設で開催される様々なイベントに足を運ぶ事が、その中で、多くの人に出会い、関係機関や地域住民の方々の深い絆や、職員一人一人の強い想いが病院を支えていることを知りました。皆様から求められる情報にスピード感を持って対応し、広報誌やホームページを通じて親近感と信頼感を持って頂けるような広報活動をしたいと考えております。また、コミュニケーションが広がる今日、インターネットを通じて情報発信の思いも力を入れていきたいと思っております。本年も宜しくお願い致します。

広報担当 千代田

編集後記